

◆2012 年度

2012 年 3 月 27 日から 2013 年 3 月 26 日現在

| | 本サイトページ | ページビュー数 | 全体に対する割合 |
|----|--------------|---------|----------|
| 1 | Top ページ | 18,143 | 15.44% |
| 2 | 一般/HAM | 14,583 | 13.11% |
| 3 | 一般/ATL | 13,434 | 11.43% |
| 4 | 一般/HTLV-1 とは | 9,127 | 7.77% |
| 5 | 医療関係者/診断治療 | 8,773 | 7.47% |
| 6 | 一般/検査 | 6,340 | 5.40% |
| 7 | 医療機関検索 | 6,053 | 5.15% |
| 8 | 一般/キャリア | 5,914 | 5.04% |
| 9 | 一般/妊婦健診 | 5,391 | 4.59% |
| 10 | 一般/HU | 3,381 | 2.88% |
| 11 | 用語の解説 | 2,838 | 2.42% |

※TOP ページを含む上位 10 ページ

直近 3 ヶ月 (2013 年 1 月 1 日から 2013 年 3 月 26 日まで)

| | 本サイトページ | ページビュー数 | 全体に対する割合 |
|----|--------------|---------|----------|
| 1 | Top ページ | 4,958 | 16.32% |
| 2 | 一般/ATL | 3,596 | 11.84% |
| 3 | 一般/HAM | 3,379 | 11.12% |
| 4 | 一般/HTLV-1 とは | 2,690 | 8.85% |
| 5 | 医療関係者/診断治療 | 2,099 | 6.91% |
| 6 | 一般/検査 | 1,838 | 6.05% |
| 7 | 一般/キャリア | 1,668 | 5.49% |
| 8 | 一般/妊婦健診 | 1,615 | 5.32% |
| 9 | 医療機関検索 | 1,361 | 4.48% |
| 10 | 一般/HU | 1,002 | 3.30% |
| 11 | 用語の解説 | 746 | 2.46% |

※TOP ページを含む上位 10 ページ

◆2013 年度

2013 年 3 月 27 日から 2014 年 2 月 20 日現在

| | 本サイトページ | ページビュー数 | 全体に対する割合 |
|----|--------------|---------|----------|
| 1 | 一般/ATL | 16,468 | 13.16% |
| 2 | Top ページ | 16,004 | 12.79% |
| 3 | 一般/HTLV-1 とは | 13,936 | 11.13% |
| 4 | 一般/HAM | 13,164 | 10.52% |
| 5 | 医療関係者/診断治療 | 11,963 | 9.56% |
| 6 | 一般/検査 | 8,593 | 6.87% |
| 7 | 一般/妊婦健診 | 7,878 | 6.29% |
| 8 | 一般/キャリア | 6,535 | 5.22% |
| 9 | 医療機関検索 | 3,856 | 3.08% |
| 10 | 一般/hu | 3,724 | 2.98% |
| 11 | 臨床試験検索 | 2,781 | 2.22 % |

※TOP ページを含む上位 10 ページ

直近 3 ヶ月 (2013 年 12 月 21 日から 2014 年 2 月 20 日まで)

| | 本サイトページ | ページビュー数 | 全体に対する割合 |
|----|--------------|---------|----------|
| 1 | 一般/ATL | 4,255 | 14.41% |
| 2 | 一般/HTLV-1 とは | 4,059 | 13.74% |
| 3 | Top ページ | 2,765 | 9.36% |
| 4 | 一般/HAM | 2,671 | 9.04% |
| 5 | 医療関係者/診断治療 | 2,473 | 8.37% |
| 6 | 一般/検査 | 2,062 | 6.98% |
| 7 | 一般/妊婦健診 | 2,055 | 6.96% |
| 8 | 一般/キャリア | 1,520 | 5.15% |
| 9 | 一般/hu | 840 | 2.84% |
| 10 | 医療機関検索 | 773 | 2.62% |
| 11 | Q&A | 618 | 2.09% |

※TOP ページを含む上位 10 ページ

5. 訪問別ページ数（1回の訪問で閲覧された平均ページ数）

◆2011年度

| | |
|--------------------------------------|----------|
| 本サイト開設日（2011年4月1日）から 2012年3月26日現在 | 3.86 ページ |
| 直近3ヶ月（2012年1月1日から2012 年3月26日まで） | 3.72 ページ |

◆2012年度

| | |
|------------------------------------|----------|
| 2012年3月27日から2013年3月26日 現在 | 2.93 ページ |
| 直近3ヶ月（2013年1月1日から2013 年3月26日まで） | 2.88 ページ |

◆2013年度

| | |
|--------------------------------------|----------|
| 2013年3月27日から2014年2月20日 現在 | 2.48 ページ |
| 直近3ヶ月（2013年12月21日から2014 年2月20日まで） | 2.53 ページ |

6. 平均サイト滞在時間

◆2011年度

| | |
|--------------------------------------|--------|
| 本サイト開設日（2011年4月1日）から 2012年3月26日現在 | 3.16 分 |
| 直近3ヶ月（2012年1月1日から2012 年3月26日まで） | 3.04 分 |

◆2012年度

| | |
|------------------------------------|--------|
| 2012年3月27日から2013年3月26日 現在 | 2.26 分 |
| 直近3ヶ月（2013年1月1日から2013 年3月26日まで） | 2.23 分 |

◆2013年度

| | |
|--------------------------------------|--------|
| 2013年3月27日から2014年2月20日 現在 | 2.12 分 |
| 直近3ヶ月（2013年12月21日から2014 年2月20日まで） | 2.19 分 |

7. 直帰率（1 ページのみ閲覧した訪問の割合）

◆2011 年度

| | |
|--------------------------------------|--------|
| 本サイト開設日（2011年4月1日）から 2012年3月26日現在 | 46.68% |
| 直近3ヶ月（2012年1月1日から2012 年3月26日まで） | 47.31% |

◆2012 年度

| | |
|------------------------------------|--------|
| 2012年3月27日から2013年3月26日 現在 | 58.56% |
| 直近3ヶ月（2013年1月1日から2013 年3月26日まで） | 59.74% |

◆2013 年度

| | |
|--------------------------------------|--------|
| 2013年3月27日から2014年2月20日 現在 | 61.92% |
| 直近3ヶ月（2013年12月21日から2014 年2月20日まで） | 61.10% |

8. 新規訪問の割合（サイトに初めて訪問したユーザーの割合）

◆2011 年度

| | |
|--------------------------------------|--------|
| 本サイト開設日（2011年4月1日）から 2012年3月26日現在 | 64.78% |
| 直近3ヶ月（2012年1月1日から2012 年3月26日まで） | 63.09% |

◆2012 年度

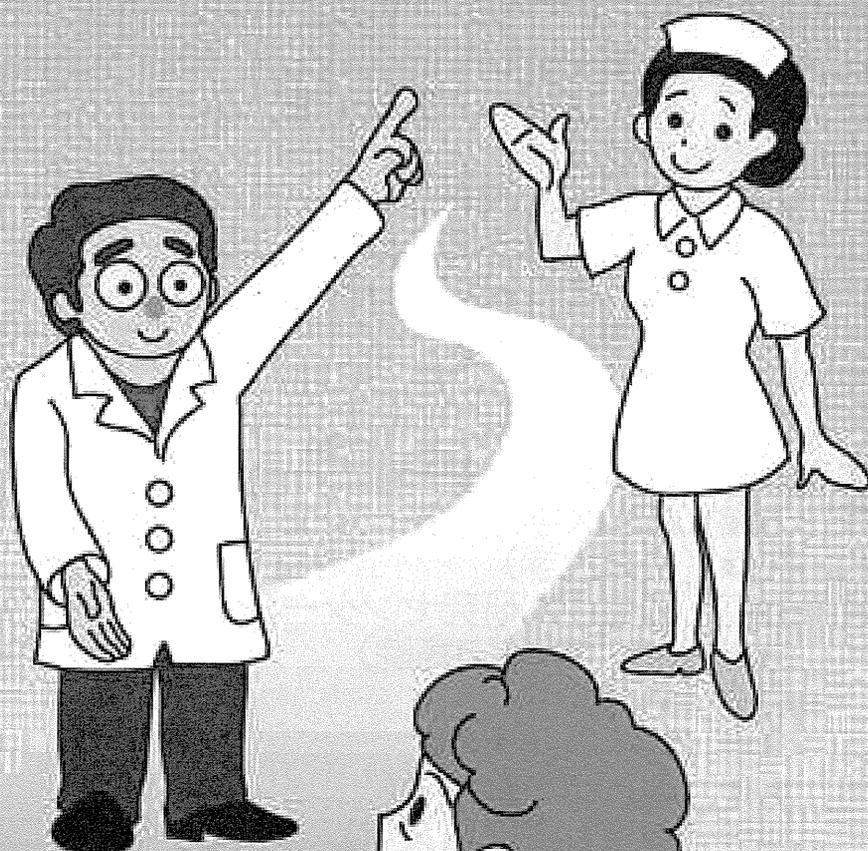
| | |
|------------------------------------|--------|
| 2012年3月27日から2013年3月26日 現在 | 70.23% |
| 直近3ヶ月（2013年1月1日から2013 年3月26日まで） | 70.16% |

◆2013 年度

| | |
|--------------------------------------|--------|
| 2013年3月27日から2014年2月20日 現在 | 71.45% |
| 直近3ヶ月（2013年12月21日から2014 年2月20日まで） | 72.18% |

成人T細胞白血病の治療を受ける 患者さん・ご家族へ

患者さんやご家族が納得した治療を
受けていただくために



初版 平成 23 年 3 月

平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金 第 3 次対がん総合戦略研究事業

「成人 T 細胞白血病のがん幹細胞の同定と

それを標的とした革新的予防・診断・治療法の確立」研究班

研究代表者：渡邊 俊樹（東京大学）

研究分担者：中内 啓光（東京大学）

濱口 功（国立感染症研究所）

長谷川秀樹（国立感染症研究所）

小川 誠司（東京大学）

塚崎 邦弘（長崎大学）

内丸 薫（東京大学）

宇都宮 與（今村病院分院）

山野 嘉久（聖マリアンナ医科大学）

第 2 版 平成 26 年 1 月

平成 25 年度厚生労働科学研究費補助金 がん臨床研究事業

「HTLV-1 キャリア・ATL 患者に対する相談機能の強化と

正しい知識の普及の促進」

研究代表者：内丸 薫（東京大学）

研究分担者：山野 嘉久（聖マリアンナ医科大学）

渡邊 俊樹（東京大学）

塚崎 邦弘（国立がん研究センター東病院）

鵜池 直邦（国立病院機構九州がんセンター）

宇都宮 與（慈愛会今村病院分院）

岡山 昭彦（宮崎大学）

石塚 賢治（福岡大学）

岩月 啓氏（岡山大学）

戸倉 新樹（浜松医科大学）

斎藤 滋（富山大学）

森内 浩幸（長崎大学）

渡邊 清高（国立がん研究センター）

高 起良（JR 大阪鉄道病院）

研究協力者：一戸 辰夫（広島大学）

石田 陽治（岩手医科大学）

石田 高司（名古屋市立大学）

田中 淳司（東京女子医科大学）

野坂 生郷（熊本大学）

佐分利能生（大分県立病院）

有馬 直道（鹿児島大学）

吉満 誠（鹿児島大学）

末岡栄三郎（佐賀大学）

Contents

はじめに 2

1 病気について 3～9

- Q1. ATL はどのような病気ですか？
- Q2. ATL の症状はどのようなものですか？
- Q3. ATL はどのように診断されますか？
- Q4. ATL はどのように分類されますか？

2 治療について 10～25

- Q5. ATL の治療方法にはどのようなものがありますか？
 - ①化学療法（抗がん剤）とは？
 - ②抗体療法とは？
 - ③皮膚科的治療とは？
 - ④造血幹細胞移植とは？

3 治療を受けられる前に 26～28

- Q6. 新しい治療方法の研究（治験・臨床試験）とは？
- Q7. セカンドオピニオン外来とは？
- Q8. 医療費の助成はありますか？
- Q9. ATL、HTLV-1 に関する情報サイトはありますか？

◆ 巻末資料 ◆

診断から治療までの流れ 29

はじめに

このパンフレットはこれから成人T細胞白血病（ATL）の治療を受けられる患者さんにご家族が最初に医師からの説明を受ける際、病気・治療についての理解を助けるための資料として作られたものです。

ATLの治療には、患者さんにご家族が正しい知識を持ち、納得して治療を受けて頂くことがとても大切です。

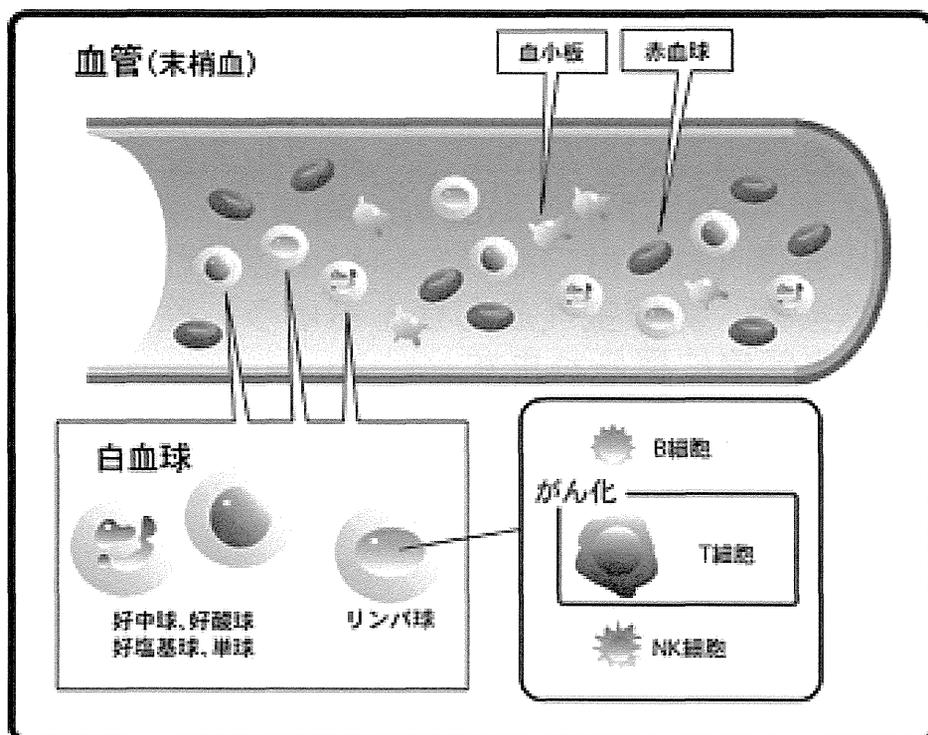
専門の病院では患者さん、ご家族に必要な情報を提供し、治療への出来る限りのサポートをしていますので、分からないことや不安なことは担当の医師や病院のスタッフに聞いてください。

HTLV-1に関連する情報についてはこのパンフレットと合わせ「HTLV-1 キャリアのみなさまへ よくわかる詳しくわかる HTLV-1」も合わせて読んでいただくことをお勧めしています。

Q 1 ATL はどのような病気ですか？

ATL は、白血球の中の T 細胞に HTLV-1 ウイルスが感染し、がん化したことにより発症する血液のがんです。したがって HTLV-1 ウイルス感染者のみが発症します。T 細胞は、白血球の中でも免疫担当細胞として重要な役割を果たしているため、ATL が発症すると、強い免疫不全を示します。そのため、健康な人はかからないような感染症（日和見感染症（ひよりみかんせんしょう））にかかりやすくなります。また ATL が進行するといろいろな臓器に障害を起し、放置すると死に至ります。

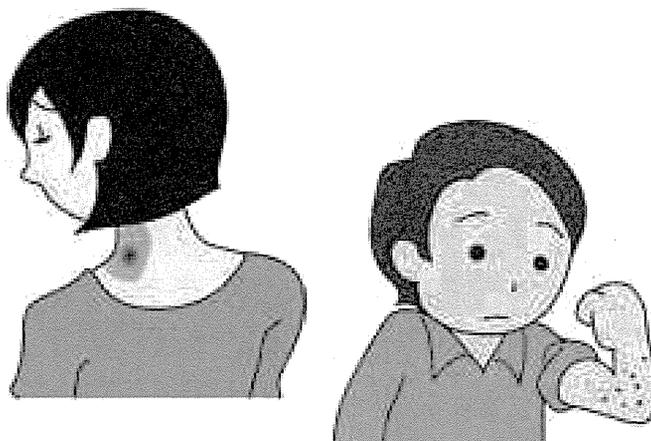
HTLV-1 ウイルス感染者の数 % が ATL を発症すると推計されており、その平均年齢は約 60 歳です。感染経路には母乳、性交渉、輸血などがあります。母乳、輸血については、それぞれ妊婦検診、献血時に HTLV-1 抗体検査でスクリーニングされており、その感染は阻止されています。



Q2 ATLの症状はどのようなものですか？

全身のリンパ節が腫（は）れたり、肝臓や脾臓（ひぞう）が腫れることもあります。また原因不明の発熱もよく見られます。皮膚紅斑（ひふこうはん—皮膚の赤い発疹、盛り上がったものが多い）や皮下腫瘤（ひかしゅりゅう—皮膚の下にしこりを触れる）などの皮膚の症状、下痢や腹痛などの消化器症状がしばしばみられます。

成人T細胞白血病リンパ腫（ATL）の病勢の悪化によって血液中のカルシウム値が上昇（高カルシウム血症）すると、全身倦怠感（けんたいかん）、便秘、意識障害等を起こします。また、免疫能低下により、



いわゆる日和見感染症を高頻度に合併します。細菌感染症のみではなく、ニューモシスチス肺炎、クリプトコッカス肺炎・髄膜炎、全身のカンジダ症やアスペルギルス症などの真菌感染症、サイトメガロウイルス肺炎・網膜炎・消化管感染症、汎発性帯状疱疹（はんぱつせいたいじょうほうしん）などのウイルス感染症、糞線虫（ふんせんちゅう）症などの寄生虫感染症等が高頻度に見られます。